

SPIRAL MARKET LIMITED SELECTION vol.2 『つくりて × えがきて = プロダクトの生まれかた』

2012年5月2日(水)～6日(日) 11:00～20:00

会場：スパイラルガーデン(スパイラル1F)／スパイラルマーケット(スパイラル2F)

プロダクト誕生までのストーリーに光を当てた、「つくりて」と「つかいて」をつなぐ展覧会

スパイラルは、2012年5月2日(水)～6日(日)まで、SPIRAL MARKET LIMITED SELECTION vol.2 『つくりて × えがきて=プロダクトの生まれかた』展を開催します。

本展は、「Eternal Design(エターナルデザイン)」をコンセプトに厳選した生活雑貨を通して、新しい生活の提案を行うスパイラルマーケットが、“いいプロダクトはどのように生まれるのか”をテーマに、プロダクト誕生までのストーリーに光を当てた展覧会です。

会場では、時代を超えて継承される日本の伝統的な技術を持つ職人(=つくりて)と、それを使い手の快適さや喜びを考えながら表現するデザイナー(=えがきて)との協同によって生み出されたプロダクト「酒器だるま」「MINOTAKE」「FUTAGAMI」等を、開発コンセプトや制作風景と共にご紹介します。会期中は、トークイベントやワークショップなど“いいプロダクト”の背景にあるストーリーを見て、聞いて、触れながらお楽しみいただけるプログラムを開催します。

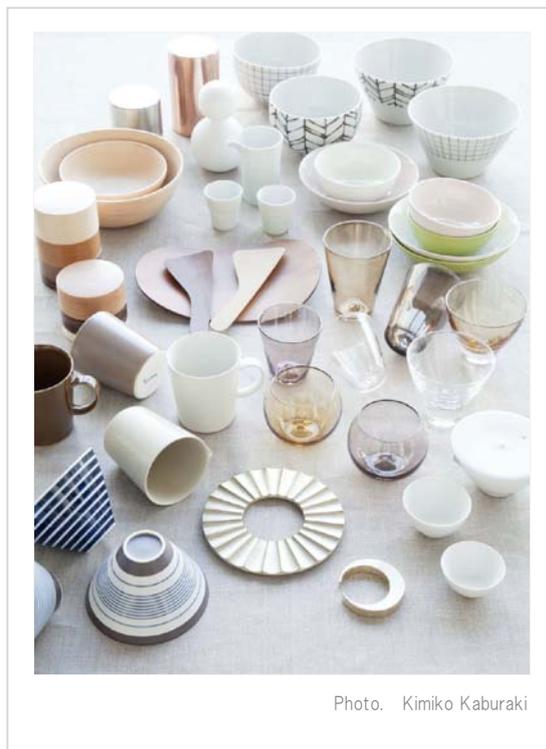


Photo. Kimiko Kaburaki

スパイラルマーケットが提案する“いいプロダクト”のかたち

また今回ご紹介するプロダクトの一つ「+S(プラスエス)」シリーズは、お客様へ商品の魅力を伝える立場であるスパイラルマーケットが、その経験と豊富な知識を活かし“つくりて”や“えがきて”達とコラボレーションしたものです。展覧会開催に合わせて、「prepare+S」「+S マグカップ」の新色も発表します。

“つくりて”や“えがきて”の思いが込められたプロダクトのある暮らしは、日々の何気ない生活の重なりで育まれる物への愛着や、時の経過をもいとおしむ気持ちを教えてください。

この機会に是非会場で、永く愛用できるプロダクトとの出会いをお楽しみください。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

◆スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 金子朱、加藤美穂
TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23
E-mail press@spiral.co.jp WEB <http://www.spiral.co.jp/>

開催概要

展覧会名： SPIRAL MARKET LIMITED SELECTION vol.2 『つくりて×えがきて=プロダクトの生まれかた』

会期： 2012年5月2日(水)～6日(日)

時間： 11:00～20:00

会場： スパイラルガーデン(スパイラル1F)/スパイラルマーケット(スパイラル 2F)

主催： 株式会社ワコールアートセンター

企画制作： スパイラルマーケット

企画協力： 山田佳一郎

協力： 株式会社開化堂、株式会社キハラ、株式会社公長齋小菅、株式会社セラミック・ジャパン、
株式会社トルク・ポーセリン、株式会社藤木伝四郎商店、株式会社二上、ブナコ漆器製造株式会社
(50音順・敬称略)

参加クリエイター： 大治将典、日下華子、小泉誠、STUDIO PREPA、山田佳一郎

関連イベント

会期中は、「つくりて」と「えがきて」によるトークショーやワークショップなどを開催します。
詳細はSPIRAL WEB(<http://www.spiral.co.jp>)にてお知らせします。

I. 開化堂：トークショー&実演

開催日： 5月2日(水)

会場： スパイラルガーデン アトリウム(スパイラル1F)

II. 大治将典×山田佳一郎×STUDIO PREPA：えがきて3名によるトークショー

開催日： 5月3日(木・祝)

会場： スパイラルガーデン アトリウム(スパイラル1F)

III. 小泉誠×株式会社公長齋小菅：「MINOTAKE」トークショー

開催日： 5月3日(木・祝)

会場： スパイラルガーデン アトリウム(スパイラル1F)

IV. 大治将典×株式会社二上：「FUTAGAMI」トークショー

開催日： 5月4日(金・祝)

会場： スパイラルガーデン アトリウム(スパイラル1F)

V. 山田佳一郎×株式会社セラミック・ジャパン：「酒器だるま」トークショー

開催日： 5月5日(土・祝)

会場： スパイラルガーデン アトリウム(スパイラル1F)

VI. 山田佳一郎×株式会社藤木伝四郎商店：「角館伝四郎」トークショー&ワークショップ

開催日： 5月5日(土・祝)

会場： スパイラルガーデン アトリウム(スパイラル1F)

VII. ブナコ漆器製造株式会社：じぶんだけの「BUNACO」をつくる ワークショップ

開催日： 5月6日(日)

会場： スパイラルガーデン アトリウム(スパイラル1F)

参加費： 6,300円(送料・税込)

**prepare +S**

スタジオプレパ × スパイラルマーケット

優れたブロー技術と、使うことにこだわった高いデザイン力を併せ持つ、「STUDIO PREPA(スタジオプレパ)」と生み出した、毎日の生活を形づくるガラスシリーズ。使っていくことで大切さが増し、その理由をだれかにちょっと話したくなるガラスは、用途に合わせて4アイテムの3カラーからお選びいただけます。

**+S マグカップ**

株式会社トルク・ポーセリン × スパイラルマーケット

瀬戸の窯元と製作した“心地よいお茶のじかん”がテーマのマグカップ。スパイラルマーケットスタッフの間で何度も試作を行った、安定感のある大きめのハンドルが特徴です。高い技術をもつ職人による、機械生産では出せない手作りのニュートラルさ、職人の経験による絶妙なさじ加減が活かされたシリーズです。

**+S ボウル**

日下華子 × スパイラルマーケット

九谷の土を用いて生まれた、オリジナルボウルシリーズ。サイズとデザインを何度も調整して生まれた2つの形は、女性でも使いやすいように重さと大きさにこだわりました。矢羽根と格子の古典的な文様を、洋食器とも合わせやすいようバランスにこだわって絵付けをしています。

**+S 酒器セット**

株式会社キハラ × スパイラルマーケット

凛としたフォルムや佇まいが美しい酒器セット。猪口が入れ子になり、酒器に収まるようになっています。持ち手部分の青磁釉のグラデーションにこだわり、当主自らが釉がけを行っています。



酒器だるま

山田佳一郎 × 株式会社セラミック・ジャパン

徳利と猪口2客を重ねたまま湯煎できる雪だるまの形をした酒器。猪口がフタになるため爛が早く、同時に猪口も温められるので、冬でも注いだ爛が冷めません。フタがされているため埃が入る心配もなく、オブジェとして飾っておくことができます。夏は猪口を重ねたまま冷蔵庫に入れておけば、冷酒を一層お楽しみ頂けます。



輪筒

山田佳一郎 × 株式会社藤木伝四郎商店

江戸時代に武士の手内職として始まった秋田県角館の榿細工は桜皮細工ともよばれ、200年以上の歴史があります。国指定の伝統工芸品である伝統技法を江戸時代末期より受け継ぐ老舗「藤木伝四郎商店」と、デザイナー山田佳一郎が出会い生まれた「輪筒」は、「型もの」といわれる技法で作られています。天然素材ならではの美しさと、桜皮とくるみ、さくら、かえでの彩りを楽しめる新しい茶筒です。



FUTAGAMI

大治将典 × 株式会社二上

富山県高岡にて1897年(明治31年)創業の真鍮の鋳物メーカー「二上」が、デザイナー大治将典と出会い立ち上げた、生活用品ブランド「FUTAGAMI」。使い始めの光沢から酸化により少しずつ深みを増し、緑がかったような独特の風合いへと変化していきます。長年培った技術とデザインが出会い生まれた、素材の魅力を活かしたシリーズです。



BUNACO

ブナコ漆器製造株式会社

BUNACO の製法は、青森県産のブナ材をテープ状にしてコイルのように巻き、押し出して成型するという従来の木工技術にはない独自の技法です。その製法は通常の1/10ほどの材料で作ることができ、木の年輪を思わせるような美しいデザインを生み出します。1mmの薄いテープ状にしてから加工することで木を十分に乾燥させることができるため、割れや歪みが生じず、あらゆる環境の下で使用することが可能です。

**MINOTAKE**

小泉誠 × 株式会社公長齋小菅

「竹」という素材の可能性を追求し、使い手の気持ち豊かになる、これまでに無いカタチの“食の道具”を開発したいという想いのもと、家具デザイナー小泉誠と、京都の竹メーカー「公長齋小菅」によって生まれた「MINOTAKE」。「自分らしい価値観を見つけ“身の丈”に合った豊かな気持ちになれる道具を」という思いからネーミングされた、竹本来の形を活かした手に馴染む気持ちの良いシリーズです。

**茶筒**

株式会社開化堂

明治八年創業。日本で一番古い歴史をもつ手づくり茶筒の老舗。罐かん本来の渋い美しさを楽しめる生地物は、材料特有の絹にも似た手触りと、まろやかな光沢が使うほどに深まります。蓋を茶筒の口に合わせると、吸い込まれるようにしめる精密さは、手づくりならではのもの。朝夕のお茶の時に手のひらでなでるように使い込むと、材料特有の光沢と色の変化を楽しめます。